

大分工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	国語総合
科目基礎情報					
科目番号	R03M201		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	機械工学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	三角洋一他「新編国語総合」(東京書籍, 1年次の継続) / 課題ノート『学習課題ノート』(東京書籍) / 「ビジュアルカラー国語便覧」(大修館書店)				
担当教員	広瀬 裕美子				
到達目標					
(1) 現代文(評論・随筆・小説)に親しみ, 読解や鑑賞の基礎・応用を身につける。(提出課題・定期試験) (2) 古文・漢文の読解の基礎力・応用力を身につける。(提出課題・定期試験) (3) 文章の内容や箇所の問いに對して的確に文章にまとめる作文力や発表力を身につける。(提出課題・定期試験) (4) 常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の基礎的語彙力をつける。(漢字テスト・定期試験)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)
評価項目1	現代文(評論文・随筆・小説)に親しみ, 読解や鑑賞の基礎力・応用力を十分身につけている。		現代文(評論文・随筆・小説)に親しみ, 読解や鑑賞の基礎力・応用力を身につけている。		現代文(評論文・随筆・小説)に親しみ, 読解や鑑賞の基礎力・応用力を身につけていない。
評価項目2	古文・漢文の読解の基礎力・応用力を十分身につけている。		古文・漢文の読解の基礎力・応用力を身につけている。		古文・漢文の読解の基礎力・応用力を身につけていない。
評価項目3	文章の内容や箇所についての問いに對して的確に文章にまとめる作文力や表現力を十分身につけている。		文章の内容や箇所についての問いに對して的確に文章にまとめる作文力や表現力を身につけている。		文章の内容や箇所についての問いに對して的確に文章にまとめる作文力や表現力を身につけていない。
評価項目4	常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の基礎的語彙力を十分身につけている。		常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の基礎的語彙力を身につけている。		常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の基礎的語彙力を身につけていない。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育目標 (C1)					
教育方法等					
概要	・現代文(評論文・随想・小説)及び古文・漢文を読み, 内容読解・鑑賞・文章作成を行う。 また, 表現力の向上に向けて, 作文や発表を行う。 ・漢字問題集を試験範囲とした「漢字テスト」を定期的に行い, 漢字・語句の力を身につける。 〔科目情報〕 関連科目 国語総合(1年), 現代文(3年)				
授業の進め方・方法	基本的に講義を中心に学習するが, 可能であればアクティブラーニングの授業も実施。 〔事前学習〕 次の授業で扱う教科書本文を必ず読んでおくこと。				
注意点	〔履修上の注意〕 課題の提出, 課題ノートの提出, 漢字テストを評価して, 課題点(30点満点)とする。 授業で用いたプリントは, 試験の範囲に入れることもあるので必ず保管しておくこと。 〔自学上の注意〕 作品本文の音読を始め, 学習課題ノートやプリントを用いて授業の予習復習を心掛けること。				
評価					
〔総合評価〕 総合評価=(4回の定期試験の平均点)×0.7+(課題の平均点)×0.3 〔単位修得の条件について〕 総合評価60点以上。 〔再試験について〕 総合評価が59点以下の学生に対して実施。					
授業の属性・履修上の区分					
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	古文(1)	読解(1)ー1	
		2週	古文(2)	読解(1)ー2	
		3週	古文(3)	読解(1)ー3	
		4週	古文(4)	読解(1)ー4	
		5週	現代文(1)	評論(1)ー1	
		6週	現代文(2)	評論(1)ー2	
		7週	現代文(3)	評論(1)ー3	
		8週	現代文(4)	評論(1)ー4	
	2ndQ	9週	前期中間試験		
		10週	前期中間試験の解答と解説	誤答箇所の確認・復習	
		11週	漢文(1)	読解(1)ー1	
		12週	漢文(2)	読解(1)ー2	
		13週	漢文(3)	読解(1)ー3	
		14週	漢文(4)	読解(1)ー4	
		15週	前期期末試験		

		16週	前期期末試験の解答と解説	誤答箇所の確認・復習
後期	3rdQ	1週	現代文(5)	随想・小説(1)ー1
		2週	現代文(6)	随想・小説(1)ー2
		3週	現代文(7)	文章作成(1)ー1
		4週	現代文(8)	文章発表(1)ー2
		5週	古文(5)	読解(2)ー1
		6週	古文(6)	読解(2)ー2
		7週	現代文(9)	評論(2)ー1
		8週	現代文(10)	評論(2)ー2
	4thQ	9週	後期中間試験	
		10週	後期中間試験の解答と解説	誤答箇所の確認・復習
		11週	漢文(5)	読解(2)ー1
		12週	漢文(6)	読解(2)ー2
		13週	現代文(11)	随想・小説(2)ー1
		14週	現代文(12)	随想・小説(2)ー2
		15週	学年末試験	
		16週	学年末試験の解答と解説	誤答箇所の確認・復習

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	前5,前6,前7,前8,前9,前10,前15,前16,後1,後2,後7,後8,後9,後13,後14,後15,後16
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	前5,前6,前7,前8,前9,前10,前15,前16,後1,後2,後7,後8,後9,後13,後14,後15,後16
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	前5,前6,前7,前8,前9,前10,前15,前16,後1,後2,後7,後8,後9,後13,後14,後15,後16
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	前5,前6,前7,前8,前9,前10,前15,前16,後1,後2,後7,後8,後9,後13,後14,後15,後16
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	前5,前6,前7,前8,前9,前10,前15,前16,後1,後2,後7,後8,後9,後13,後14,後15,後16
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	前5,前6,前7,前8,前9,前10,前15,前16,後1,後2,後7,後8,後9,後13,後14,後15,後16

				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後15,後16	
				伝統的な言語文化への興味・関心を広く持ち、その特徴を説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後15,後16	
				いくつかの代表的な古典に描かれた、ものの見方を理解し、自分の意見を述べることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後15,後16	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	後3,後4	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	後3,後4	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	後3,後4	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	後3,後4	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	後3,後4	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	後3,後4	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	後3,後4	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	後3,後4	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前11,前12,前13,前14,後10,後11,後12	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	前11,前12,前13,前14,後10,後11,後12	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	前11,前12,前13,前14,後10,後11,後12	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3		
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0